

戊辰戦争140年 in 七ヶ宿

奥羽越列藩同盟締結への道

実施報告書

日時：平成20年5月24日（土）・25日（日）

会場：七ヶ宿町活性化センター

主催：「戊辰戦争140年 in 七ヶ宿」実行委員会

目 次

- I. 開催趣旨
- II. 実施概要
- III. 実施内容
 - III-1. 1 日目
 - 第 1 部 基調講演、フォーラム
 - 第 2 部 交流会「街道談義」
 - III-2. 2 日目
 - 歴史街道探訪会

添付資料

- 1. 「戊辰戦争 140 年 in 七ヶ宿」に関するアンケート
- 2. 「戊辰戦争 140 年 in 七ヶ宿」(歴史街道探訪会)に関するアンケート
- 3. 参加者内訳 (地域別)
- 4. 開催周知チラシ

I 開催趣意

慶應四年（1688）閏四月一日（現在の5月22日）、七ヶ宿の関本陣で仙台藩、米沢藩、会津藩等の重臣による「関の密談」と呼ばれる重要な会談が行われ、奥羽越列藩同盟の結成に繋がった。その結成から140年となる今年、七ヶ宿で戊辰戦争と街道を活用した地域づくりフォーラムを開催する。

七ヶ宿及び白石を中心として羽州街道（七ヶ宿街道）や奥州街道、板谷街道、米沢街道、二井宿街道と七ヶ宿の関わりを検証するとともに、街道が持っていた地域交流のエネルギーを“現在のみち”である道路をリンクさせ、風景街道や広域交流への取り組み、地域資源の発掘、食や祭りなどの文化発信という具体的な活動を提案し、七ヶ宿における交流人口の増加や地域活性化、町が持つ魅力の再発見等につなげることを目的とする。

II 実施概要

- 1) 開催日 : 平成20年5月24日（土）、25日（日）
- 2) 会場 : 七ヶ宿町活性化センター
- 3) 主催 : 「戊辰戦争140年 in 七ヶ宿」実行委員会
共催 : 七ヶ宿町、戊辰戦争研究会、羽州街道交流会、みやぎ街道交流会
NPO 法人水守の郷・七ヶ宿、(社) 東北建設協会
後援 : 国土交通省七ヶ宿ダム管理所、とうほく街道会議、NPO 法人奥州街道会議、南とうほく街道ネットワーク、ふくしまけん街道交流会、七ヶ宿町観光協会、七ヶ宿町商工会、三宿地域連携協議会
- 4) 当日実施概要

1日目（2008年5月24日 土曜）		
第1部 開会行事	サクソフォン演奏「荒城の月」	会場：七ヶ宿町活性化センター
	開会挨拶	
	祝辞	
基調講演1	「戊辰戦争と七ヶ宿」（星亮一氏）	
基調講演2	「戊辰戦争下の七ヶ宿街道」（高倉淳氏）	
フォーラム	「戊辰戦争から七ヶ宿の地域づくりを考える」	
第2部 交流会	「街道談義」	会場：湯原ふれあい館
2日目（2008年5月25日 日曜）		
探訪会	「歴史街道探訪会」 羽州街道沿線を中心に戊辰戦争関連史跡を探訪	宮城県七ヶ宿町 ～山形県高島町

Ⅲ 実施内容

Ⅲ-1. 第1日目

5月24日(土) ≪13:30~17:30≫

第1部 開会行事、基調講演、フォーラム

会場：七ヶ宿町活性化センター

1. 開会行事

- ◇オープニングセレモニー サクソフォン演奏「荒城の月」 演奏者 木村 義満 氏
- ◇主催者あいさつ 実行委員長 七ヶ宿町長 梅津 輝雄 氏
- ◇祝辞 前白石市長 川井 貞一 氏

2. 基調講演(1)

講師：星 亮一 氏 (作家、戊辰戦争研究会主宰、福島県郡山市在住)

演題：「戊辰戦争と七ヶ宿」

「戊辰戦争の発端は秋田藩」「秋田藩が裏切って、仙台藩の藩士を惨殺して薩長軍についてしまったために、戊辰戦争に負けてしまった」ということが、秋田以外の東北各地で語られてきた。

会津藩は、幕府体制の維持のため幕府の名代として薩長と戦争したが、幕府に助けてもらえるどころか逃げられて敗れてしまった。その会津藩が京都、江戸から追い払われる時に援助の手をのばしたのが仙台藩だった。

そして、会津藩と仙台藩の歴史的な会合が七ヶ宿の関宿で開かれた。そこでは、新潟をふくめた東北列藩で薩長に対抗し、最終的には東京に奥羽列藩同盟の政権をつくろうとすることが話しあわれたが、結局戦争に敗れ、理想もついでてしまった。仙台藩の幹部クラスが鎧を着用して出陣し、薩長に狙われやすかったことを、敗因にあげる人もいる。



講演する星亮一氏



星亮一氏と戊辰戦争研究会の皆さん

3. 基調講演（2）

講師：高倉 淳 氏（歴史研究家、みやぎ街道交流会会長、宮城県仙台市在住）

演題：「戊辰戦争下の七ヶ宿街道～宿駅制度の終焉と陸運輸送近代化の視点」

江戸時代の陸上輸送は「宿駅制度」と呼ばれるシステムが、国内のほとんどの張り巡らされていた。街道には宿場と呼ばれる宿駅が設けられ、駅ごとに人足や馬が用意されていて、荷物を引継ぎ輸送していた。

ところがこのシステムは明治元年、宿駅制度が廃止され、宿駅の代わりに伝馬所が置かれ、その伝馬所も明治5年に廃止され、あらたに民間の運輸業務がスタート。それが陸運会社で、ほぼ宿駅ごとに設立された。しかし、明治8年に陸運会社が解散再編し、陸運元会社は内国通運会社と改称した。この会社はさらなる再編をつづけ、昭和12年に日本通運として再スタートする。明治から昭和にかけて変化し巨大化してゆく国策の輸送会社である。

宿駅制度は廃止された明治元年は戊辰戦争の真っ只中。その社会的な余波は七ヶ宿にも押し寄せ、急激な物価高、輸送料金の高騰などがあり、大きな混乱が余儀なくされた。

七ヶ宿にも輸送システムの変化は訪れた。ほかの地域と同じく、宿駅は伝馬所となり、陸運会社となった。その陸運会社の名前が書かれた看板が、「七ヶ宿水と歴史の館」に保存されている。丸に通の字が見られる看板や印鑑などが、貴重な歴史の生き証人として展示されている。



講演する高倉淳氏



4. フォーラム

○テーマ：「戊辰戦争から七ヶ宿の地域づくりを考える」

○コーディネーター 宮原育子氏（宮城大学教授〔観光学〕 山形県高島町在住）

○パネラー 栗原伸一郎氏（仙台市史編纂室）

遠藤由紀子氏（昭和女子大学講師・戊辰戦争研究会）

島津憲一氏（三宿地域連携協議会事務局長）

海藤節生氏（NPO 法人水守の郷・七ヶ宿理事長）

○アドバイザー 星 亮一 氏

戊辰戦争の歴史を伝えていくうえで大切なこと。

- ・ 自分たちの町は、藩士たちが命をかけて守ろうとした土地だったということを感じる。
- ・ 地元に残っている歴史資料や史跡を大切に後世に残す。
- ・ 戊辰戦争の意味を大きな視野で捉える。奥羽越が真剣に日本の将来を考えて団結したことに意味を見出す。

戊辰戦争をテーマにした地域づくりの可能性。

- ・ 普段の生活で戊辰戦争とのかかわりを目にするきっかけが必要。
- ・ キャラクターの成り立ちに、その地域の歴史を活かす。
- ・ その土地を好きになるためには歩くことが良い。様々なテーマを掘り下げて、なおかつ普段の生活や交流で歴史を気軽にとらえていくことが地域おこしにつながる。
- ・ 地域作りの基は、地域住民や家族が仲良く暮らすこと。



栗原伸一郎 氏

遠藤由紀子 氏

島津憲一氏

海藤節生 氏



宮原育子 氏

星亮一 氏

5. 閉会



第2部 交流会・街道談義 5月24日(土) 《18:20~20:30》
会場：湯原ふれあい館

思い思いに戊辰戦争や七ヶ宿の地域づくりを語りあい、情報交換を行うなどして交流を深めた。

当日の会場に用意された料理は山菜を中心とした郷土料理。七ヶ宿は山菜の宝庫として知られているが、町内には山菜料理の名人が数え切れないほどいる。その山菜料理名人たちが腕をふるった料理は、参加者から絶賛された。



料理名	主な食材料名
一、かわりご飯	もち米、タケノコ、ニンジン
二、山菜汁	ゴボウ、ジャガイモ、わらび、うるい、あいこ
三、冷汁	わらび、うるい、あいこ、しどけ、きりたんぽ、クキダチ
四、わらびとあいこのシヨウガ	わらび、あいこ、シヨウガ
五、だし	みずな、キウリ、タマネギ、ナス
六、青菜の白和え	青菜の古漬け
七、ふき炒り	ふき
八、うどと舞穴き	うど、舞穴きニンジン
九、笹ゆべし	もち米、うるち米、みそ
十、ふきのとう寄せ(デザート)	ふきのとう

平成二十五年五月二十四日撮影

戊辰戦争140年七ヶ宿「街道談義」料理献立表



さらに会場には参加者が持ち寄った各地の地酒がたくさん並べられた。七ヶ宿の山菜料理と、東北各地の地酒がもたらした交流効果は大きかった。

戊辰戦争で新政府軍側と幕府側に分かれて戦わざるを得なかった、140年前の先祖たちの悔しさを思いやった街道談義は、和やかな中にも、これからの新しい街道交流を予感させるものだった。



Ⅲ-2. 第2日目

【歴史街道探訪会】 5月25日(日)

- (1) コース：宮城県七ヶ宿町～山形県高島町
- (2) 主催：「戊辰戦争140年 in 七ヶ宿」実行委員会
 共催：七ヶ宿町、戊辰戦争研究会、羽州街道交流会、みやぎ街道交流会
 NPO 法人水守の郷・七ヶ宿
 後援：七ヶ宿町史談会、三宿地域連携協議会、国土交通省七ヶ宿ダム管理所
 とうほく街道会議、NPO 法人奥州街道会議、南とうほく街道ネットワーク
 ふくしまけん街道交流会、七ヶ宿町観光協会、七ヶ宿町商工会
 (社) 東北建設協会
 協賛：七ヶ宿ライオンズクラブ、(有) 七ヶ宿観光タクシー
 七ヶ宿観光開発株式会社
- (3) 参加者：55名
- (4) 行程詳細

時間	内容	移動	備考
8:30	七ヶ宿町活性化センター 集合・出発	バス	
9:00～ 12:30	八代郷義民・高梨利右衛門酬恩碑(高島町) [→写真1] 加登屋(高島町) [→写真2] 島津六郎兵衛屋敷(高島町) [→写真3] 二井宿古道ハイク(高島町) 風穴跡(高島町) [→写真4] 大滝不動尊(高島町) 東光寺山門(七ヶ宿町) [→写真5] 七ヶ宿町産直「旬の市」(七ヶ宿町) [→写真6] 振袖地蔵(七ヶ宿町) [→写真7] 脇本陣・安藤家(七ヶ宿町) [→写真8]	徒歩 + バス	ガイド
12:30～ 1:30	昼食(滑津公民館) [→写真9]	徒歩	地産地消弁当
13:30～15: 30	関泉寺(七ヶ宿町) [→写真10] 関本陣・渡辺家(七ヶ宿町) [→写真11] 七ヶ宿町水と歴史の館(七ヶ宿町) [→写真12]	徒歩 + バス	ガイド
15:40	記念写真 [→写真13]		水と歴史の館
15:50	解散		水と歴史の館

歴史街道探訪会 写真



[写真1]八代郷義民・高梨利右衛門酬恩碑(高島町)

義民高梨利右衛門は江戸時代前期の寛文6年(1666)、米沢藩の重税に苦しむ屋代郷(現在の高島町)の救済を幕府に直訴して処刑された。その恩に報い140年後に立てられた酬恩碑が残されている。



[写真2]加登屋(高島町・二井宿)

元禄年間創業の砥石問屋でもあり、販路は宮城県、福島県にも及んでいた。現存する建物はおよそ130年前の旅籠屋で、二井宿街道の宿場の姿をとどめる唯一の建物。



[写真3]島津六郎兵衛屋敷(高島町・二井宿)

慶應4年6月(当時)、奥羽越列藩同盟の盟主・輪王寺宮一行が白石城に向かう際に宿泊した。



[写真4]風穴跡(高島町)

明治時代から昭和にかけて高島では養蚕が盛んであった。当時は蚕の卵(蚕種)を保存しておく冷蔵施設が無かったため、冷気が噴出す風穴を利用して蚕種を保存しておく施設を建設した産業遺産である。



[写真5]鹿園山東光寺(七ヶ宿町・湯原宿)

応永年中頃、現在の米沢市に伊達九代政宗(儀山公)の菩提寺として開山。高島町や二井宿峠付近を移転し、慶長年中頃に現在の地に移された。伊達九代政宗とその夫人の位牌があったという記録があり、山門は薬医門造りで、江戸時代中期に建てられた。



[写真 6]七ヶ宿町産直「旬の市」(七ヶ宿町)

七ヶ宿でとれる山菜やきのこをはじめとした山の幸、農家で作られる野菜や果物を販売する施設。館内には七ヶ宿の郷土料理を提供する食堂も併設されている。



[写真 7]振袖地蔵(七ヶ宿町・滑津宿)

参勤交代で滑津宿を通った秋田藩のお殿様が、給仕の娘に一目ぼれをした。殿様が1年後に再び通った時、その娘が病気で亡くなったことを知り、供養のためにこのお地蔵様を建てたといわれる。



[写真 8]脇本陣・安藤家(七ヶ宿町・滑津宿)

七ヶ宿街道の中で唯一当時の面影を残す建物。天保年間までは桜井家が、その後明治まで安藤家が滑津宿の肝入検断を務めていた。



[写真 9]昼食・地産地消弁当(七ヶ宿町・滑津公民館)

七ヶ宿で取れた山菜、野菜、保存していたきのこをふんだんに使った特注のお弁当。



[写真 10]関泉寺(七ヶ宿町・関宿)

角田の長泉寺を本寺として、寛永年間に角田の石川侯によって創られた。本堂には、墮胎や間引きを戒めるためのものと思われる絵がある。



[写真 11] 関本陣・渡辺家(七ヶ宿町・関宿)

応永4年、仙台藩、米沢藩、会津藩、二本松藩、相馬藩の重臣による「関の密談」が行われた場所。この会談が奥羽越列藩同盟の結成に繋がった。当時の建物は解体されたが、庭園の一部が残っている。



[写真 12] 「七ヶ宿町水と歴史の館」(七ヶ宿町)

今回の戊辰戦争フォーラムを記念して開催された、戊辰戦争関係資料展示を見学。

初公開資料が数多く展示され、参加者の興味を引いていた。



[写真 13] 「七ヶ宿町水と歴史の館」の前で記念写真

【添付資料1】「戊辰戦争140年in七ヶ宿」に関するアンケート集計

※単位はすべて（人）

質問1 あなた自身についてお聞かせください

a.性別

男性	53	女性	23
----	----	----	----

b.年代

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
0	2	2	6	20	23	28

質問1 お住まいはどちらですか

a.七ヶ宿町	23	b.福島県	12	e.秋田県	0
a.白石市	7	c.山形県	1	f.青森県	0
a.仙台市	21	d.岩手県	0	g.茨城県	1
a.その他県内	15				

質問3 今回の催しを何で知りましたか

a.チラシ	b.知り合い	c.新聞、メディア	d.その他
28	29	22	13

「その他」の意見

- ・ ふくしまけん街道交流会
- ・ 町のホームページ
- ・ 町だより
- ・ 史談会
- ・ 戊辰戦争研究会のホームページ
- ・ 三宿交流会
- ・ 戊辰戦争研究会
- ・ みやぎ街道交流会

質問4 基調講演「戊辰戦争と七ヶ宿」はいかがでしたか

a.大変良かった	b.良かった	c.どちらとも言えない	d.あまりよくなかった
29	40	7	5

- ① 七ヶ宿との関わりをもう少し突っ込んで話して欲しかった。
- ② 七ヶ宿の役割が理解できなかった
- ③ 関宿の密談についてもっと詳しく知りたかった(同様意見3人)
- ④ 本では見えない当時の感情や背景の部分の紹介が良かった
- ⑤ コスチュームも良かった
- ⑥ 知識がなく話を聞くだけあった。聞き取りにくいこともあった
- ⑦ 全体的な戊辰戦争像がわかった
- ⑧ 七ヶ宿の話があまりない
- ⑨ 白石の片倉家についての関わりもほしかった

質問5 基調講演「戊辰戦争下の七ヶ宿街道」はいかがでしたか

a.大変良かった	b.良かった	c.どちらとも言えない	d.あまりよくなかった
18	37	19	5

- ① 時間 30 分は短い(同様意見 15 人)
- ② 当時の物価、価値など生活の観点から見れてわかりやすく楽しかった
- ③ 物価の変動については今まで気付かなかった
- ④ わかりにくかった
- ⑤ 高倉先生の話をもっと聞きたい
- ⑥ 直接的な関係がわからない

質問6 フォーラム「戊辰戦争から七ヶ宿の地域づくりを考える」はいかがでしたか

a.大変参考になった	b.参考になった	c.どちらとも言えない	d.あまりよくなかった
16	38	7	5

- ① 自己紹介に時間がかかりすぎ
- ② 七ヶ宿の地域づくりについてもっと話し合っほしかった
- ③ 遠藤さんの発信、現地調査に基づいていて素晴らしい
- ④ バラエティにとんだ、パネリストで楽しく戊辰戦争と地域づくりを考えることができた
- ⑤ 一人当たりの時間が長い、パネラーの話が単調
- ⑥ 白石→○→高島のラインを作るのに賛成
- ⑦ 若い人の参加がほしい
- ⑧ 奥羽越列藩同盟の再現、街道通過者名の看板、名物品の売り出し
- ⑨ 七ヶ宿の地域作りががんばっていると思う
- ⑩ 歴史を知り活用していくことが可能ではないか
- ⑪ 島津さんの話は講演でやってほしかった
- ⑫ 「七ヶ宿」をテーマとした意見交換が聞きたかった
- ⑬ 町民の結束力を固めたことで「まちづくり」の意欲向上になったと思う

質問7 今回の催しの全体についてお聞かせ下さい(企画や運営面など)

a.大変良かった	b.良かった	c.どちらとも言えない	d.あまりよくなかった
31	35	7	3

- ① 羽州街道の宿駅だったことを前提に民宿群をつくり自然の中で水、空気、樹木の中で落ち着ける環境を提供する
- ② 昔からの食べ物の発掘とその食事の提供
- ③ どぶろくを飲みながらの関宿での密談
- ④ そばを賞味しながらのお月見
- ⑤ 時間が遅かった

- ⑥ 関の密談が良くわからなかった
- ⑦ 運営にモタモタ感があるが、一方で手作り感がありよかった
- ⑧ 町の意気込みを感じた
- ⑨ 2018年も期待しています
- ⑩ 150年も七ヶ宿であるいは会津で
- ⑪ 山口県、鹿児島県、高知県の人々の参加があるともっと深い歴史が解るのでは
- ⑫ 歴史についての勉強会があると良い(七ヶ宿町民)
- ⑬ 桑折の郡役所あたりはいつも見学者がいるようなので七ヶ宿にもそんな所が欲しい
- ⑭ カメラのフラッシュがうるさい
- ⑮ 企画を見つけて運営面にがんばってほしい
- ⑯ 島津氏の映像が見られず残念
- ⑰ 「戊辰戦争と七ヶ宿」はタイトル負けの内容であった
- ⑱ 七ヶ宿を自信を持って宣伝してください
- ⑲ 七ヶ宿町内のひとが少なかった
- ⑳ 大変満足でした

質問8 街道をテーマに活動を行う団体をご存知ですか。知っている団体を○で囲んでください。

(複数回答)

a.羽州街道交流会	26	d.とうほく街道会議	19
b.みやぎ街道交流会	24	e.ふくしまけん街道交流会	13
c.NPO奥州街道会議	14	f.その他	5

「その他」の意見

- ・全国街道会議
- ・あおもり街道会議
- ・山形小国町十三峠探訪
- ・みちのく歴史街道研究会
- ・奥州街道文化研究会

【添付資料2】「戊辰戦争 140 年 in 七ヶ宿」(歴史街道探訪会)に関するアンケート集計

※単位はすべて(人)

質問1 あなた自身についてお聞かせください

a.性別

男性	22	女性	8
----	----	----	---

b.年代

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
0	1	2	2	10	11	5

質問2 お住まいはどちらですか

a.七ヶ宿町	0	b.福島県	6	g.栃木県	1
a.仙台市	7	d.岩手県	1	g.東京都	1
a.白石市	4	e.秋田県	1	g.長崎県	1
a.その他	7	g.茨城県	2	g.埼玉県	1

質問3 今回の催しを何で知りましたか

a.チラシ	b.知り合い	c.新聞、メディア	d.戊辰戦争研究会	d.その他
9	9	8	7	3

質問4 今日の探訪会で印象に残った場所3つあげてください

a.二井宿	b.二井宿峠	c.湯原宿	d.滑津宿	e.関宿	f.水と歴史の館
24	14	3	17	10	17

- ① 昨日の話で理解できなかったことがわかった
- ② 史跡、寺院をみて歴史の深さ、おもしろさを再認識した
- ③ 歴史を感じさせる静かな町でした

質問5 案内人の説明はどうでしたか

a.大変良かった	b.良かった	c.どちらとも言えない	d.あまりよくなかった
22	10	1	0

- ① 島津さんの木・草花の説明が良かった
- ② 説明付きのツアーは楽。星先生からの説明も聞けた
- ③ みなさん大変わかりやすくはっきりした口調なのでよかった
- ④ 七ヶ宿、二井宿の地域の方が案内したほうがよい
- ⑤ 声が聞き取りにくい方があった
- ⑥ 島津先生の飾らない説明が、親近感があってよかった
- ⑦ 歴史ばかりでなく自然や植物、食物およぶ話しぶりで、心が豊かになった

質問6 地元の食材を多く使った昼食はいかがですか

a.大変良かった	b.良かった	c.どちらとも言えない	d.あまりよくなかった
24	9	0	0

- ① 量があっってお腹いっぱいになりました
- ② やや量が多かった
- ③ 地元の山菜を使い土地柄が感じられた
- ④ 普段の食事が印象的だった
- ⑤ 竹の子ご飯がおいしかった
- ⑥ すばらしかった。御馳走さまでした
- ⑦ フキが食べたかった
- ⑧ 手作りのおもてなしに感激しました。「ゆべし」また食べたい

質問7 今後定期的に歴史探訪会を開催した方が良いと思いますかお聞かせ下さい

a.是非開催して欲しい	b.出来れば開催して欲しい	c.どちらとも言えない	d.開催しなくてもよい
17	17	1	0

- ①150年は必ず開催してほしい

質問8 探訪会全体でお気付きのことや、アイデアなどありましたら、お書きください

- ①運営が少々モタモタしていた。スタッフが少ない。分担して大人数でやってはどうか。
- ②いろいろなストーリーをテーマとして探訪会を実施したらよいと思った。
- ③参加できてとても感謝しています
- ④街道グループに戊辰戦争に関わるグループが加わったことで奥ゆきが出た
- ⑤案内版のカラー、デザインをもう少し検討したほうがよい
- ⑥ 次回の開催のときはもっと勉強して積極的に質問をしたい
- ⑦ 釣り大会
- ⑧ わらじで歩こう会みたいに探訪会を定着してはどうか。
- ⑨ 戊辰戦争の合戦の内容を知りたかった
- ⑩ 町上げてのイベントに熱い思いが伝わりました。町長さん自ら接待される姿勢が素晴らしい

【添付資料3】参加者内訳（地域別）

「戊辰戦争 140 年in七ヶ宿」当日受付参加者内訳 ※単位(人)

七ヶ宿町	50
白石市	19
仙台市	20
その他の県内	20
福島県	18
山形県	8
合 計	135

「戊辰戦争 140 年in七ヶ宿」参加者内訳 ※単位(人)

七ヶ宿町	118
白石市	36
仙台市	51
その他の県内	36
福島県	26
山形県	8
東京都	6
岩手県	2
茨城県	1
長崎県	1
秋田県	1
埼玉県	1
合 計	287

【添付資料4】開催周知チラシ

「戊辰戦争140年in七ヶ宿」スケジュール

5月24日(土)
七ヶ宿町活性化センター(〒974-0804 宮城県刈田郡七ヶ宿町字柳94 七ヶ宿町活性化センター) TEL.0224-38-1211
受付 13:00~13:30

第1部
開会行事 13:30~13:50
基調講演 14:00~15:30
「戊辰戦争と七ヶ宿」
「戊辰戦争下の七ヶ宿街道」
フォーラム 15:40~17:30
「戊辰戦争から七ヶ宿の地域づくりを考える」

第2部
交流会「街道談話」 16:20~20:30 (参加費のみ 参加料あり)
交流会「絆」 17:30~18:30 (参加費のみ 参加料あり)
交流会「絆」 18:30~19:30 (参加費のみ 参加料あり)
懇話(参加費のみ 参加料あり)
8時「七ヶ宿(前)城跡(旧七ヶ宿町字柳94)」TEL.0224-37-2106
TEL.0224-37-2112 FAX.0224-37-2102

5月25日(日)
歴史街道めぐり会 9:00~14:30
〒974-0804 宮城県刈田郡七ヶ宿町字柳94 七ヶ宿町活性化センター
TEL.0224-37-2106 FAX.0224-37-2102

会場案内図

参加募集人数(応募者多数の場合は抽選となります)
第1部 基調講演 フォーラム(無料・自由参加)
第2部 交流会「街道談話」50名
第3部 交流会「絆」50名
懇話 25名・大規模 30名
交流会合計 50名

申し込み方法
このチラシに記入し、お申し込みの申し込み用紙に FAX でお申し込みください。
お申し込みの用紙は、お申し込みの用紙に記入してください。
〒974-0804 宮城県刈田郡七ヶ宿町字柳94 七ヶ宿町活性化センター
TEL.0224-37-2112 FAX.0224-37-2102
E-mail: shikiji@town.ehichikasehokumiyagi.jp

チラシ裏→

↓チラシ表

七ヶ宿町教育委員会「戊辰戦争140年in七ヶ宿」係あて 申し込み日 月 日

「戊辰戦争140年in七ヶ宿」参加申込書

の欄目は、いずれかにVをお付けください。

所属団体事業所名
またはグループ名等

参加者氏名

フリガナ	氏名	フリガナ	氏名	職場 自宅

FAX

はい	いいえ	3000円
はい	いいえ	5000円 (参加料別)
旅館	民宿	1500円 (1泊1食・朝食・お風呂別)
はい	いいえ	

TEL.0224-37-2112

in 七ヶ宿

戊辰戦争百四十年

奥羽越列藩同盟締結への道

日時▼平成20年5月24日(土)25日(日)

会場▼七ヶ宿町活性化センター(宮城県刈田郡七ヶ宿町字柳94)

慶応4年(1868)春、七ヶ宿の関本陣で
仙台湾、米沢藩、会津藩等の重臣による
「関の密談」と呼ばれる重要な会議が行われ、
白石での奥羽越列藩同盟の結成に繋がった。
その結成から140年となる今年、
七ヶ宿で戊辰戦争と街道を活用した
地域づくりフォーラムを開催する。

第1日目 5月24日(土)
会場 七ヶ宿町活性化センター(宮城県刈田郡七ヶ宿町字柳94 七ヶ宿町活性化センター)

第1部
基調講演
「戊辰戦争と七ヶ宿」
作家 丸 亮一氏(戊辰戦争研究家)
「戊辰戦争下の七ヶ宿街道」
歴史研究家 高倉 淳氏(みまき町史談会代表)

フォーラム
「戊辰戦争から七ヶ宿の地域づくりを考える」
コーディネーター 宮原有子氏(宮城大学准教授)
パネラー 柴原伸一郎氏(仙台市史談会代表)
遠藤山紀子氏(仙台市女子大学准教授・戊辰戦争研究家)
島津忠一氏(宮城県道南歴史館館長)
清峰郷生氏(NPO法人水戸の郷 七ヶ宿代表)
丸 亮一氏

アドバイザー

第2日目 5月25日(日)
歴史街道めぐり会
刈田郡刈田町(七ヶ宿)山形県高田町(井宿)を中心に、
戊辰戦争関連史跡を巡訪

主催 戊辰戦争140年in七ヶ宿実行委員会
共催 七ヶ宿町 戊辰戦争研究会 刈田郡交流協会
みやぎ街道交流協会 NPO法人白石の郷 七ヶ宿 (社)黒光堂縁組
宮城県三郷町歴史研究会 東北街道七ヶ宿管理事務所
とうぼく街道会館 NPO法人奥州街道会館 南とうぼく街道ネットワーク
ふくしまけん街道交流会 七ヶ宿町観光協会 七ヶ宿町観光課

宮城県刈田郡七ヶ宿町活性化センター(宮城県刈田郡七ヶ宿町字柳94)
山形県刈田町(七ヶ宿) 歴史館 戊辰戦争研究会

仕様：A4 サイズ
両面
オールカラー